

夷耶馬・鷲巢岳地域の 岩上に生える植物

夷耶馬・鷲巢岳地域は瀬戸内海国立公園、国東半島県立自然公園内に位置し、なかでも奇岩・怪石の岩峰がそびえる夷谷は、その中核をなす景勝地です。夷谷を挟むように連なる岩峰上は、土壌が浅く、日当たりや風当たりが強いので、著しく乾燥し、植物にとって厳しい環境にあります。ここに生える植物には、葉や茎に水分を蓄えたり、雨の少ない時期には葉をしておらせ、水分の蒸散を防ぐものなど、環境に適応するための機能を発達させたものが多く見られます。これらのなかにはマツハランやアベマキ、イワギリソウなど、分布上貴重な植物も少なくありません。

シダ植物



根と葉は未分化の原始的なシダ、マツハラン



イワデングは分布上貴重なシダ植物



日当たりのよい岩面に群落をつくるイワヒバ



葉をまるめこみ乾燥に耐える



春の岩峰を白く飾るイブキシモツケ



茎や葉に水分を蓄え、乾燥を防ぐウンゼンマンネングサ



日陰の湿った岩上に可憐な花を咲かすイワギリソウ



この地域の固有種、ブゼンギク



イワシデの葉と果実



乾いた岩場にしがみつのように根を張るイワシデ



コルク層が発達したアベマキの幹



クヌギにとてもよく似たアベマキの葉



鋭い葉をもち、「ネズミサシ」の別名をもつネズ



藍色の実が印象的なサイフリボク

種子植物



植物にとって厳しい環境条件の奥谷岩峰群